

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	ドイツ語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0392			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	材料工学科(2016年度以前入学生)			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	・教科書：Andrea Raab・石井寿子著『時事ドイツ語2017年度版』（朝日出版社）。・辞書：『アポロン独和辞典』（同社）（授業時は、この辞書で説明する）毎回持参すること。学習効果を考慮すると紙の辞書が望ましい。						
担当教員	日高 雅彦						
到達目標							
1. 中級レベルのドイツ語テキストを正確に読める。 2. より多くの語彙と表現力を身につけ、自分の考えを簡単なドイツ語で表現できる。 3. あまり複雑ではない構造のドイツ語文を聞き取ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	中級レベルのドイツ語テキストをより正確に読める。		中級レベルのドイツ語テキストをしっかりと読んでいる。		テキストへの取り組みが不十分である。		
評価項目2	より多くの語彙と豊かな表現力が身に付いている。		多くの語彙と表現力が身に付いている。		語彙と表現力の定着が不十分である。		
評価項目3	少し複雑な構造のドイツ語文を、より正確に聞き取ることができる。		少し複雑な構造のドイツ語文を、ある程度聞き取ることができる。		少し複雑な構造のドイツ語文を聞いても、内容の把握が不十分である。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	初級ドイツ語を習得した学生が、ワンランク上の文法、読解力、表現力を身につけ、ドイツ語の運用能力を高めることを目的とする。						
授業の進め方・方法	原則として1回につき教科書の1章を学習する。読解の練習を中心に進める。授業で練習した重要表現については、次の授業開始時に小テストを行う。なお、小テストの出題範囲は主に前課の授業内容とする。						
注意点	評価方法：定期試験（期末試験）60%、小テスト20%、平常点（授業への参加状況に基づく）20%を目安として評価する。 60点以上を合格とする。 再試験は実施しない。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ドイツ語Ⅱの復習、オリエンテーション ドイツの国家機構・EU（欧州連合）のしくみ		ドイツの国家機構を知る。 EUのしくみを知る		
		2週	スポーツ 1		「ハンドボール欧州選手権 ドイツ代表大金星」の記事を読める。		
		3週	スポーツ 2		「〈サッカーの神様〉 代表を引退」の記事を読める。		
		4週	文化 1		「ヒトラーの『わが闘争』 再びベストセラーに」の記事を読める。		
		5週	文化 2		「ベーマーマンの刑事訴訟 メルケルがゴーサイン」の記事を読める。		
		6週	経済 1		「VWの不正ソフト 会社の存続危機に発展」の記事を読める。		
		7週	経済 2		「銀行ストレステスト 51行おおむね合格」の記事を読める。		
		8週	政治 1		「連邦議会選挙の前哨戦 地方選でAfD大躍進」の記事を読める。		
	4thQ	9週	政治 2		「イギリス国民投票 EU離脱を選択」の記事を読める。		
		10週	社会 1		「ケルンの大晦日事件 難民政策に打撃」の記事を読める。		
		11週	社会 2		「難民問題の切り札〈統合法〉 議会で可決」の記事を読める。		
		12週	その他 1		その他の記事を読める。（その1）		
		13週	その他 2		その他の記事を読める。（その2）		
		14週	その他 3		その他の記事を読める。（その3）		
		15週	復習		全体を振り返り、理解を深める。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	10	0	10	100
基礎的能力	60	20	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0